

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2023No.320】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：ディミトリ・ショスタコーヴィチ

曲名：交響曲第4番ハ短調 op. 43

演奏：トゥガン・ソヒエフ指揮ベルリンフィルハーモニー

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55021>

2023年10月1日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



ソヒエフ指揮によるショスタコーヴィチとリスト

トゥガン・ソヒエフが指揮するショスタコーヴィチの交響曲第4番。作品内の舞曲や行進曲のモチーフの使用や不協和な音響語法はマーラーを彷彿とさせるものであり、彼がマーラーを敬愛していたことが読み取れるでしょう。同時にそこでは、スターリンによる独裁政権も示唆されています。この交響曲と組み合わせられるリストのピアノ協奏曲第2番は、深い表現に満ちた作品です。ソリストを務めるアレクサンドル・カントロフは、今回ベルリンフィルデビューを飾ります。

以上の他に下記が演奏されました。

フランツ・リスト ピアノ協奏曲第2番イ長調

アレクサンドル・カントロフ(ピアノ)

イゴール・ストラヴィンスキー L'Oiseau de feu: Finale (arr. Guido Agosti)

アレクサンドル・カントロフ(ピアノ)

フランツ・シューベルト

Geistliche Lieder: Litanei auf das Fest Allerseelen (arr. Franz Liszt)

アレクサンドル・カントロフ(ピアノ)

ショスタコーヴィチの交響曲第4番は、1楽章のいかにもショスタコーヴィチらしく、打楽器や金管楽器が派手に活躍する色彩感あふれるところから始まります。2楽章、3楽章は穏やかで、4楽章はいきなり爆発し、最後は静かに締めくくられます。

リストのピアノ協奏曲第2番は、第1番の方はお馴染みですが、第2番は初めてです。ソリストのアレクサンドル・カントロフは、ベルリンフィルのデビューだそうですが、STAGE+を楽しむ(40)でも報告しているとおり、ヴェルビエ音楽祭2023でルノー・カプソンなどと共演している注目のピアニストです。このリストの曲も感性豊かなピアノズムを披露していました。聴衆の歓呼に応えての、ストラヴィンスキーとシューベルトはアンコール曲です。

ベルリンフィル大ホールでのピアノ曲はしばらく聴いていませんでしたが、LAN iSilencerの追加など、ピアノの響きがよくなっていることが分りました。



:

以上